



## 楽しみです！新しい校舎 小千谷小学校引越し

新しい校舎が完成した小千谷小学校で、3月26日（金）、引越しが行われました。この日は5年生を中心とした在校児童が、一度旧校舎の講堂に運び出した全校児童分の机や椅子、学校用具などを何度も往復しながら、うれしそうに新しい校舎に運び入れていました。もうすぐ始まるピカピカの校舎での新しい学校生活を思い描いているようでした。

### ●今月の主な内容

子ども手当が支給されます	2
JR東日本水利権取得に同意	3
災害に強い住宅づくりのために	6～7
小千谷小学校の新校舎が完成	14
各種相談をご利用ください	15
成人式のご案内	17

## 小千谷市はJR東日本の水利権申請に同意しました

JR東日本信濃川発電所は、不正取水により国土交通省北陸地方整備局から信濃川の水利権を取り消されていましたが、市内取水団体と同社が水利権再申請に同意したことを受け、小千谷市は取水量や維持流量、地域共生など必要な事項を定めた協定書・覚書・確認書を交換し、3月30日(火)、水利権申請に同意しました。

JR東日本は、水利権再申請を今月2日に関係する水利使用者すべての同意を得て、河川法第23条（流水の占有許可）に基づき、5年間の水利使用を申請しました。JR東日本との主な取り決め事項は次のとおりです。

### ①信濃川の維持流量について

宮中ダム下流の信濃川に流す最低維持流量を水利権取り消し前の毎秒7㎡から毎秒40㎡以上とし、宮中取水口からの最大取水量を従来どおりの毎秒316.96㎡としました。

### ②試験放流について

取水再開から5年間の試験放流を実施します。あらかじめ1年目から4年目までのパターンを決定しておき、各年度3月に当該年度のデータを検討のうえ、翌年度の試験放流パターンを確定いたします。サケの遡上期（9月11日～11月10日）には毎秒100㎡、80㎡、60㎡をそれぞれ試験放流し、夏期（7月10日～9月10日）には毎秒80㎡、60㎡を試験放流します。それ以外の時期は毎秒50㎡、40㎡として調査、検証を行います。

### ③試験放流の検証について

5年後に試験放流の結果を検証し、その結果を踏まえ再申請します。この検証方法などの詳細はこれから検討されますが、検証には小千谷市も加わることができるよう関係機関と協議していきます。

### ④地域共生策について

JR東日本より過去のお詫びとして、市が設置した「小千谷市環境うるおい基金」に20億円を寄附いただきました。信濃川の河川環境の維持向上など、環境との調和のため、有効に活用します。

また今後、小千谷市とJR東日本信濃川発電所との共生に関して、相互に協力して必要な施策を実施するため覚書を交わしました。

■問い合わせ／総務課秘書政策係 ☎83-3506



# 子ども手当が支給されます

申請が必要な方は忘れずに申請を

## 子ども手当の申請

申請が必要な方

- ① 現在の児童手当を受給していない方
  - ② 「現在児童手当を受給している方で、平成22年4月1日現在において、中学2・3年生の子どもも養育している方」
- ※4月以降に転入や転出により住所が変わった方は、別途手続きが必要です。
- 手続きに必要なもの
- 「上記①に該当する方」▽印鑑▽請求者（養育している方）の健康保険証の写し、または年金加入証明書▽請求者（養育している方）名義の振込先口座
- 「上記②に該当する方」▽印鑑
- ※養育している子どもと住所を別にしていらっしゃる方は、ほかに書類が必要になる場合がありますので、事前にお問い合わせください。

■申請猶予期間

申請を9月30日(木)までに受付したものに限り、4月分（または支給要件に該当した月の翌月分）にさかのぼって支給されます。

※転入や転出により手続きが必要になる方は、この経過措置の対象になりません。

■申請受付場所・問い合わせ

社会福祉課子育て支援係 ☎83-3517

■なお、所得制限により児童手当を受給していなかった方も、子ども手当には所得制限がありませんので、申請手続きをお願いします。

※公務員は勤務先での手続きになります。

### ●児童手当（～平成22年3月）

3歳～小学6年生	
第1子・第2子 1人につき	5,000円/月
第3子以降 1人につき	10,000円/月
0歳～3歳未満	
一人につき	10,000円/月
所得制限を超えている方	手当なし

### ●子ども手当（平成22年4月～）

中学生	1人につき 13,000円/月
3歳～小学6年生	
0歳～3歳未満	
所得制限を超えている方	

# 「夢の架け橋」

(ふるさと納税)

## 昨年度は次の事業を行いました

- 人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
  - ▽学力向上小千谷プロジェクトノ小・中学校の先生が、分かる授業づくりのため学校の枠を超えて、大学の先生を講師に招いての講演会と研究会を開催しました。(全6回実施)
  - ▽西脇順三郎自筆草稿購入(5点)



▲自筆デッサン「女人像」ペン・紙 38cm×27cm



▲自筆原稿「文学評論に於けるドグマ」200字詰原稿用紙45枚 詩誌「詩と詩論」昭和6年3月号に掲載

## 安全で快適な美しい環境のまちづくり

- 環境フェアノ10月11日開催(市報おぢや11月10日号掲載)
  - ▽健康で安心して暮らせるまちづくり(福祉、健康、医療)
  - ▽ノルディックウォーキング普及事業ノ6月21日に総合体育館、10月18日に白山運動公園ウォーキングコースで合わせて2回開催しました。(市報おぢや7月10日号、12月10日号掲載)

- ▽幼児プレイルーム改修工事ノ総合体育館の幼児プレイルームを明るく、風通しよく改修しました。(市報おぢや12月10日号掲載)
- 人と人がふれあうまちづくり(交流、市民参加)
  - ▽まちづくり人材育成事業ノ「集集館」で、全8回開催しました。「人づくりはまちづくり」という視点で、市内の宝物、財産を再認識し、今後どのような未来を描いていくか参加者同士、学習・交流しながら探りました。
  - ▽ジュニア用サッカーゴール整備ノジュニア用サッカーゴールを白山運動公園に設置しました。(市報おぢや12月10日号掲載)

## 今年度は次の事業を行います

- 人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
  - ▽学力向上小千谷プロジェクトノ小・中学校の先生が、分かる授業づくりのため学校の枠を超えて、大学の先生を講師に招いての講演会と研究会を開催しています。昨年度に引き続き実施します。
  - ▽「ふるさとに輝くおぢやの先人たち」冊子制作ノ集集館で開催した「ふるさとに輝く小千谷の先人展」で紹介した人物を冊子にまとめ、小・中学校に配付します。
  - ▽生涯学習フェスティバルノ文化講演会の開催や生涯学習実践発表の実施などを通じて、生涯学習機会を充実させます。
- 人と人がふれあうまちづくり(交流、市民参加)
  - ▽まちづくり人材育成事業ノ市民や団体、企業などで明日の小千谷を担う人材を対象としたセミナーを開催し、人材を育成します。昨年度に引き続き実施します。

## ふるさと納税とは

「ふるさと」とは、出身地に限らず、応援したいと思う市町村や都道府県のことをいいます。「ふるさと」に寄附をした場合、その金額に応じて、寄附をした方が納める住民税や所得税が軽減される制度です。

## ふるさと納税制度を活用して

寄附金を有効に活用させていただくことはもちろんのこと、寄附をした方から「小千谷市を応援する思い」を持ち続けていただき、交流の輪が広がるように「ふるさと納税制度」を活用したいと考えています。

## 寄附の申込み手続きは

寄附をしていただく際は、事前に申込が必要です。「寄附申込書」を電子メール、郵便、ファックスのいずれかの方法でお送りいただくか、電話で直接お申し込みいただくようお願いしています。

## 「夢の架け橋基金」

いただいた寄附金のほかに、市の会計から寄附金と同額を基金に積み立てます。寄附をした方が小千谷市に託した「夢(寄附金)」と小千谷市民の「夢」をつなぐ「架け橋」として、基金を活用します。

## 小千谷市のPRにご協力を

全国の多くの方々から小千谷市を応援していただくように、市民のみなさんからも、親戚・友人・知人に「小千谷市」と「夢の架け橋基金」のPRをお願いいたします。

■問い合わせノ企画財政課企画経営係 83・3507  
FAX 83・2789 plan@city.ojya.niigata.jp  
※寄附の手続きや詳しい内容は市ホームページにも掲載しています。 URL http://www.city.ojya.niigata.jp/

親子の笑顔がかがやくまちおぢやへ

# ベビー・ファースト運動にご協力をおねがいします

## ●ベビーファースト運動ってなに？

市では、妊産婦さんや小さな子ども連れの方を対象に、子育てにやさしいまちづくりをめざした思いやりの優先運動を行っています。

優先対象者の表示として、母子健康手帳をお渡しするときに「マタニティキーホルダー」と「車用ステッカー」を配布しています。このキーホルダーやステッカーをお持ちの方を見かけたら、席や順番を譲るなど、さりげないやさしさの気持ちを持って見守っていただけたらと思います。

市内協力事業所でも、マタニティ優先駐車場や優先レジの設置、妊産婦や子どもの近くでの喫煙の自粛にご協力いただいています。



▲車用ステッカー(左) キーホルダー(右)



▲マタニティマーク

## ●この運動によるサービスを利用してみた妊産婦さんの声は？

- ▷「つわりで買い物するのが大変な時、優先レジや駐車場があり助かった」
- ▷「まだまだ知っている人が少ないので、もっとこの運動が広まってほしいと思う」



●うぶごえ教室に参加した、「子育て真っ最中」のお母さんたちからも、「独身のころ住んでいた自治体ではこのサービスはなかったのが嬉しい」「おなかが大きいと、買い物もたいへんです。日用品や食料などのデリバリーサービスがあるとよい」「オムツ替えベッドがある男性用のトイレがもっと増えてほしい」といった意見も聞くことができました。

## ～こんな声もありました～

- ▷「駐車場に専用スペースがあっても、なかなかとめられずに残念」
- ▷「駐車スペースをもっと増やしてほしい」
- ▷「お腹が目立ちにくい時期は優先レジに並んでも、周りから声をかけられないと先に行けない」
- ▷「運動について、周りの人の関心が少なく利用しにくい時がある」

## ●それぞれの立場で・・・どんなことをすればいいの？

### 《地域や家庭では》

地域のみなさんからのやさしい言葉かけやあたたかい見守りがあることで、妊産婦さんの不安は軽減し、安心して子育てができます。

地域や勤め先などで、妊産婦さんなどを見かけたら、「お先にどうぞ」など思いやりや譲りあいの気持ちをもって関わるとよいですね。

また、タバコの煙は健康や成長面の障害にもつながりかねません。禁煙への配慮も忘れずをお願いします。

### 《事業所では》

この運動をより一層広めていくために、協力いただける市内事業所を募集しています。

- ①駐車場への優先マーク表示による駐車スペースの設置(補助金制度あり)
- ②ポスター掲示による運動周知活動など



■問い合わせノ健康センター保健係 83-3640

守ろう！大事な家が！ご自宅の地震の備えは大丈夫ですか？

# 災害に強い住宅づくりのための補助制度があります

■問い合わせ／建設課建築住宅係  
☎83・3514

中越大地震、中越沖地震と度重なる地震により被災した市内の住宅は、倒壊しなかった住宅もさまざまな被害を受けました。今後起こりえる地震に対して、地震が起きてから慌てるのではなく、事前に耐震強度を高める必要があります。

市では地震による木造住宅の被害を軽減し、災害に強いまちづくりを推進するため、耐震基準が見直された建築基準法改正前、昭和56年5月31日までに建築された木造住宅を対象とした助成制度を拡充しました。従来からの耐震診断費の助成制度に加えて、耐震改修工事費や高齢者などを対象とした部分補強と地震保険料の助成制度をご紹介します。

評点を1・0以上にする改修設計のことです。耐震改修設計は耐震診断の講習会を終了した建築士が行い、設計のとおり改修工事が行われたことを、工事監理責任者として工事監理状況報告をする必要があります。

●耐震改修工事とは…上部構造評点の総合評点が1・0以上になるように、新潟県内の事業所（営業所なども可）が施工する耐震改修設計どおりの改修工事のことです。工事は耐震改修設計者が工事監理者として、工事監理状況報告をする必要があります。

●助成対象者／次の要件をすべて満たす住宅を持ち、市税の滞納がない方

## 木造住宅耐震改修設計費及び改修工事費助成制度

木造住宅の耐震改修設計と改修工事を行う方に、その設計費と工事費の一部を助成します。

●耐震改修設計とは…基礎や壁などを補強することにより、上部構造評点の総合

■助成金額／	■事業の区分	■助成金額
耐震改修設計	設計費の1/2（上限10万円）の額	
耐震改修工事	工事費の1/3（上限50万円）に最大15万円を加算した額	

■受付戸数／先着5戸  
■受付期間／10月29日(金)まで

## 木造住宅耐震診断費助成制度

地震による木造住宅の被害を軽減し、災害に強いまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震診断を受ける人に診断費の一部を助成します。木造住宅耐震改修設計費及び改修工事費助成制度や木造住宅部分補強・地震保険等加入促進助成制度を受けるためには、この耐震診断を受ける必要があります。

■助成対象者／次の要件をすべて満たす住宅を持つ方

- ①市内にある住宅
- ②昭和56年5月31日以前に建築された住宅
- ③壁、柱、床、屋根その他の住宅の主要部分の大部分が木造の住宅

耐震診断の対象となる延べ床面積	耐震診断料	自己負担額	助成金額
70㎡以下	7万円	1万円	6万円
70㎡超	8万円		7万円
175㎡以下	10万円		9万円
175㎡超			

■受付戸数／先着40戸  
■受付期間／10月29日(金)まで

## 木造住宅部分補強・地震保険等加入促進助成制度

地震時に迅速な避難が困難な高齢者や体が不自由な方の安全を確保し、住宅再建手段として有効な地震保険などへの加入を進めることを目的としています。

地震時において倒壊などの危険性が高い木造住宅の部分補強等工事費用や地震保険料などの一部を助成します。

●地震保険などとは…家財を除く居住用家屋を対象とし、地震、噴火、津波を原因とする火災や災害などによる損害を補償する保険・共済のことです。火災保険などとともに入加入する必要があります。

■対象世帯／助成制度申請の年度に地震保険などへ新規加入（更新を含む）する市税の滞納が無い、次のいずれかに該当

する世帯。

▽65才以上の方（以下「高齢者」）の単身世帯、夫・妻が高齢者である夫婦のみの世帯または高齢者の親族のみで構成されている世帯

▽身体障害者手帳の交付を受けている方（以下「身体障がい者」）の単身世帯、夫・妻が身体障がい者である夫婦のみの世帯または身体障がい者である親族のみで構成されている世帯

■対象住宅／昭和56年5月31日以前に建築された木造一戸建住宅（居住部分が半分以上を占める店舗併用住宅も含む）

●部分補強等工事とは…木造住宅耐震診断費助成制度に基づいて耐震診断を行ったうえで、次のいずれかに該当する工事のことをいいます。ただし、木造住宅耐震改修設計費と改修工事費助成制度の対

象となった住宅の工事は除きます。

▽1階補強工事…耐震診断の結果、上部構造評点が0・7未満と診断された住宅について、人命を守るために、1階にある寝室や居間などを中心に補強を行い、1階の上部構造評点を0・7以上とする工事。助成対象となるには、耐震診断の資格を持つ耐震診断士が設計し、工事監理状況報告をする必要があります。

▽シェルター工事…耐震診断の結果、上部構造評点が1・0未満と診断された住宅について、耐震シェルターなど（その住宅が倒壊しても居住者の生命の安全を守る機能を持つ箱型の構造物などのこと）を公的機関に認定を受けたもの（その住宅の1階部分に設置する工事。助成対象となるには、上記の安全性を公的機関が認定した書類などの提出が必要です）

■助成金額／

■事業の区分	■助成金額
部分改修等工事	工事費の%（上限40万円）の額
地震保険料等	地震保険料などの1/2（契約年数により上限60000円～3万円）の額

●地震保険料等とは…地震保険などの契約に係る地震等相当分の保険料または掛金をいいます。助成対象となるものは、契約した地震保険などの契約年数を1年単位として、一契約につき最長で5年分までの保険料または掛金です。複数ある場合は、いずれかひとつとなります。

■受付戸数／先着5戸  
■受付期間／10月29日(金)まで

## 住宅を建築する方を応援します

市では、雪に強く明るく住みよいまちづくりを進めるため、市内に個人住宅を建築する方のための融資・補助制度を用意しています。

どちらの制度も建設課にある申請書に見積書、図面、納税証明書などの必要書類を添えて工事着工前に申請してください。

■申請・問い合わせ／建設課建築住宅係  
☎83-3514

## 小千谷市住宅建築資金融資

一般住宅・克雪住宅を建築する方や、既存住宅を克雪住宅に改良する方に融資を行います。

■融資限度額／  
▷克雪住宅を新築する場合：1,000万円  
▷一般住宅を新築する場合：700万円  
▷克雪住宅に改良する場合：300万円

■融資条件／  
①融資利率／返済開始後120か月までの間（10年間）は年2.25とし、121か月以降は市場金利内の範囲内で市長が定める利率。  
②融資期間／20年以内（一括繰上償還もできます）  
③償還方法／元利均等の毎月償還  
④その他／連帯保証人、担保権などの融資条件は、別途取扱金融機関の定めるところによります。

■融資時期／工事検査完了後に市が発行する証明書を取扱金融機関が受理した月の翌月の5日（休日の場合は翌日）

## 克雪すまいづくり支援事業補助金

克雪住宅を建築する方や、既存住宅を克雪住宅に改良する方に補助金を交付します。

■補助対象者／  
▷市内に克雪住宅を建築する方  
▷市内の既存住宅を克雪住宅に改良する方

■補助対象住宅／克雪住宅（融雪式・耐雪式・落雪式住宅）。別途基準あり  
■補助金交付限度額／▷融雪式住宅：44万円▷耐雪式・落雪式住宅：33万円  
※ただし、高齢者世帯や母子世帯・世帯主が障がい者である世帯などは、耐雪式・落雪式住宅であっても限度額が44万円となる場合があります。  
■受付期間／10月29日(金)まで（予定数に達し次第終了します）

# 下水道処理区域が拡大しました

下水道へ早期の接続にご協力をお願いします

■問い合わせ／ガス水道局下水道課  
(千谷川1丁目13番1号)  
☎83・3516

3月31日(水)から、西小千谷・東小千谷・片貝の各地区で新たに下水道を使用できる処理区域が拡大しました。地図で色のついている地域(供用開始区域)では、下水道への接続が可能です。早期の接続にご協力をお願いします。

## 下水道の役割

生活排水や浄化槽で処理できなかった汚水が側溝や河川に流れ出すと、悪臭や害虫、伝染病の発生にもつながります。下水道に接続すれば各家庭での汚水処理の手間もなくなり、自然環境を守ることができます。私たちの暮らしはより快適なものとなります。

## 排水設備工事はお早めに

下水道が使用できるようになった区域にお住まいの方は、すみやかに汚水を下水道に流すための接続工事を行っていただく必要があります。また、汲み取り便所をご使用の方は、3年以内に水洗便所に改造することが、法律で定められています。すでに浄化槽をお使いの方も、下

水道の役割をご理解いただき早期の接続をお願いします。小千谷市の下水道接続率は84・3%です。(平成21年12月末現在)

## まずは相談、指定工事店

下水道の接続工事ができるのは、小千谷市に登録した「小千谷市排水設備等指定工事店」(平成22年4月1日現在125社)だけです。工事に必要な手続きは、お客様に代わって指定工事店が行います。指定工事店一覧が必要な方は、ガス水道局下水道課まで問い合わせください。

なお、指定工事店の一覧は市のホームページ<http://www.city.ojya.niigata.jp/>にも掲載しています。工事をするときは見積書ももらい、費用や条件を十分検討してから契約しましょう。

## 融資制度の活用を

市では下水道の普及のため、処理区域内で下水道に接続するための工事を行う方に対し、年利1・85%で100万円を

限度とする融資制度を設けています。詳しくはガス水道局下水道課または市内金融機関にお問い合わせください。

## 下水道使用料

下水道に接続すると、次のとおり下水道使用料がかかります。

- ▼基本使用料／下水道に流した汚水量が10㎡までの場合、一律1575円
  - ▼超過使用料／下水道に流した汚水量が10㎡を超える分について、1㎡あたり157・5円を算定※税込み
- 上水道のみを使用している場合は、上水道の使用量を基に下水道使用料を計算します。

## 井戸水などの使用

下水道への接続後、家の中で井戸水などの自家水を使用する場合は届出が必要です。また、その使用をやめる場合や変更する場合も届出が必要です。

下水道使用量の計算方法は、次のとおりです。

▼井戸水などの自家水のみを使用してい

る場合は、1人につき6㎡/月で計算します。

▼上水道と井戸水などの自家水を両方使用している場合は、自家水として1人につき3㎡/月を上水道の使用量に足して計算します。

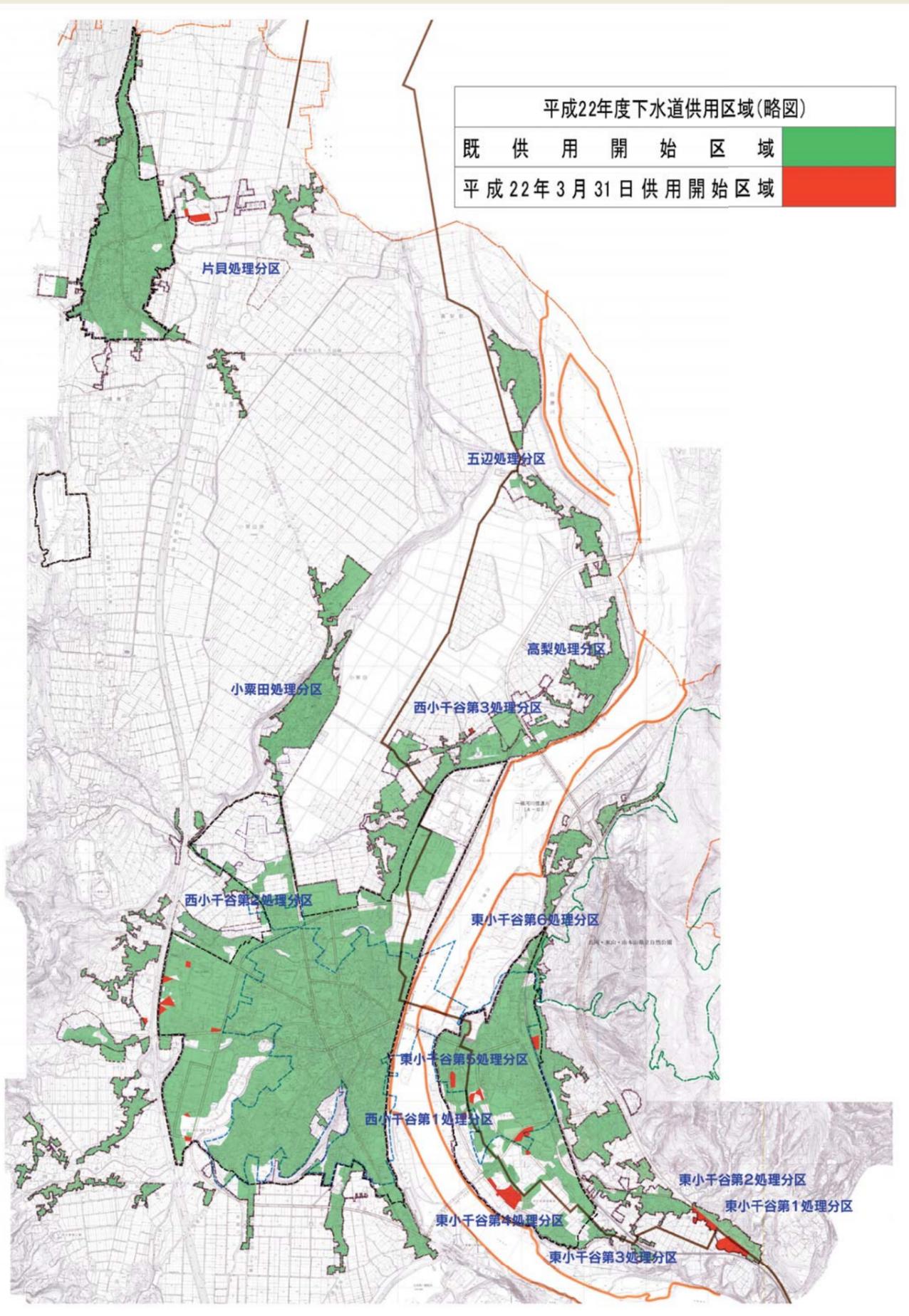
## 使用料のお支払い方法

使用料のお支払いには、便利な口座振替をご利用ください。申込用紙は、市内の各金融機関、ガス水道局下水道課にあります。

## 下水道事業受益者負担金

処理区域内に土地を所有(使用)している方には、受益者負担金がかかります。この負担金は、下水道事業の建設費の一部を土地の面積に応じて負担していただくものです。該当者には、関係書類を送ります。

なお、現在受益者負担金を納めている方で、土地や建物の売買、相続などにより受益者が変わる場合は、変更の届出が必要です。



## 小千谷市褒賞条例 褒賞者表彰式

市政に貢献されたおふたりを表彰

小千谷市が市制を施行して56年目にあたる3月10日(水)、市政に貢献されたおふたりの方が小千谷市褒賞条例に基づいて表彰されました。おめでとございます。

### 安達稔さん（八島）

【農業委員会委員永年勤続】  
農業委員会委員として12年余の永きにわたり農地行政の振興に尽くされました。

### 高塩富雄さん（上沢）

【消防団員永年勤続】  
消防団員として25年以上の永きにわたり消防団員の指導育成と団の充実強化に尽くされました。

みなさんの声をお寄せください

## 「市民提案箱」を 設置しています

市民のみなさんから市政に対するご提案、ご要望、ご意見をいただくため「市民提案箱」を設置しています。投書いただいたご提案などは市長に届きます。日ごろ、みなさんが感じていること、考えていることなどをお気軽に寄せください。

### 提案方法

左記の施設に設置の「市民提案箱」に投函する方法のほかに、電子メール、郵便、ファックスでも受け付けています。お寄せいただいたご意見・ご提案については、原則として回答します。住所・氏名・電話番号・回答の要否を記入してください。様式は任意ですが、市民提案箱の脇に用紙を置いてあります。

### 市民提案箱設置場所

▽市役所市民ホール▽片貝総合センター▽東山・岩沢・真人・川井の各住民センター▽市民会館▽図書館▽総合体育館▽勤労青少年ホーム▽子育て支援センター▽健康センター

### 提案と回答の公開

お寄せいただいたご提案のうち、広く周知が必要なものについては、個人情報



普段住んでいる都会には無い人の温かさを体感したようです。私たち夫婦が雪深い小千谷で暮らすと言った時、子どもたちはかなりの心配をしたようですが、その選択のわけが、改めて良く理解できたのではないかと思っています。娘と孫ともども、みなさんありがとうございました。  
(谷井 靖夫)

## 「んじ」ちはー市長です (37)

私事になりますがお許しください。兵庫東宮市に住んでいる次女が昨年妊娠しましたが、意外にも小千谷で出産すると言いだし、自分でさつさと魚沼病院の予約を取りました。41歳の高年初産婦でもあり、私たち夫婦も多少心配するところがあったので、娘の望み通りにすることにしました。

昨年暮から娘の長逗留(とまり)が続き、お陰様で2月に無事男の子を出産しました。3か月を超える小千谷での生活を終え、この市報をお届けするところには西宮に帰っているはずですが、

次女は、1年に2回くらい小千谷にやってきましたが、毎回ほんの数日の滞在です。今までは、小千谷がどんな所かとおよそのことは分かっていただけですが、今回はしっかり肌で感じる時間があったと思います。西宮に帰る日が近づくにしたがって、娘は、夫を小千谷で就職させてここに住もうかな、などと半分本気で言い始めました。



●つごえ教室の調理実習にて市外から嫁いでこられた方には、ベビーファースト運動などの妊産婦に対する思いやりの制度がとて支援になるそうです。(詳しくは5ページ)

を伏せたうえで「市報おちや」などで要旨を公開する場合があります。

### 個人情報の保護

記載された個人情報については、回答・連絡以外の目的で使用しません。

### 回答しないもの

次のような場合には回答しませんので、あらかじめご了承ください。  
▽特定の個人や団体を誹謗・中傷するもの▽選挙運動や宗教活動に関するもの▽住所、氏名などの記載の無いもの▽回答を希望しないもの▽その他、「市民提案箱」設置した目的に合わない判断されるもの▽市政に対する相談、質問、苦情など(こちらは担当課へお伝えください)

### ●昨年度は次のような提案などをいただきました。一部をご紹介します。

- 市役所のトイレドアのペンキが剥がれており、市外の来庁者に対しても印象が悪いと思います。  
→回答…塗り直しました。

② 図書館の北側に若干の空地があるので駐輪場を設置してはどうでしょうか。  
→回答…今春、小千谷小学校に新設する駐輪場が小学校のほかに近隣公共施設との共同利用となりますのでご理解ください。

③ 西脇順三郎の業績を顕彰するとともに現代詩の振興を図るために「(仮)西脇順三郎現代詩大賞」を創設してはどうでしょうか。  
→回答…昨年度から市民を対象とした詩の暗唱・朗読などのコンテストを開催しています。コンテストには中・高生の参加もありました。また、小学生高学年以上向けの「(仮)西脇順三郎読本」を作成する計画もありますので、当面は現代詩や西脇順三郎の偉業の啓発を中心に実施していきます。

### ■提案先・問い合わせ

小千谷市内2丁目7番5号企画財政課  
企画経営係 ☎83・3507 FAX 83・2789  
teian@city.ojyanigata.jp



■献立・調理 / 小千谷市食生活改善推進委員

<b>&lt;材料&gt; (4人分)</b>		<b>■栄養価(1人分)</b>	
もち米	4合	▷エネルギー	327kcal
ひじき(干)	6g	▷たんぱく質	8.4g
にんじん	60g	▷脂質	3.5g
ごぼう	60g	▷塩分	1.2g
油揚げ	1枚		
舞茸	100g		
干し椎茸	4枚		
しょうゆ	大さじ1と1/2		
みりん	少々		
砂糖	少々		
油	少々		

## 作ってみてね! この料理 五目おこわ

- <作り方>**
- もち米は前日に研いで水に浸しておき、蒸かす直前に水を切る。蒸かし鍋に水を入れて沸騰させ、蒸かし布を敷き、もち米を入れて30分程度蒸す。
  - 干し椎茸は水で戻し、千切りにする。ひじきは水で戻し、さっと下茹でする。にんじん、油揚げは千切り、ごぼうは笹がき切り、舞茸は食べやすい大きさに分けておく。
  - ②の材料を油で炒め、椎茸の戻し汁と水をひたひたくらいに加え、しょうゆ、みりん、砂糖で味を調べてしばらく煮る。具は煮汁を残して仕上げる。
  - 30分程度蒸し上がったもち米を大きな入れ物に移し、③を煮汁ごと少しずつ加え、よく混ぜ合わせる。再度、蒸かし鍋に具を混ぜ合わせたもち米を入れ、30分程度蒸かす。

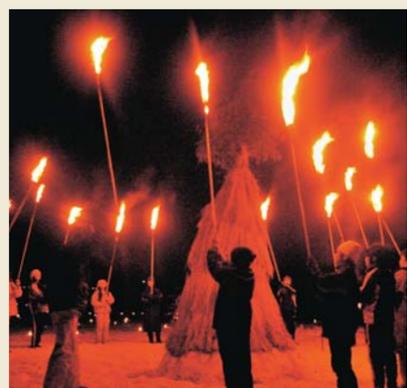
### 👉今月のワンポイント

手作りは手間がかかると思われがちですが、コツさえつかめば美味しいおこわが作れます。レパートリーの一つに加えてみてはいかがでしょうか。

長い歴史にお別れ

取り壊しが決まっている小千谷小学校講堂での最後の卒業式が3月19日(金)に行われました。同校の講堂は、現在の校舎で最も古く、昭和12年に建てられ、中越大震災の時は約2,000人が避難した大規模な避難所にもなりました。講堂は、小千谷小学校新校舎の完成に伴い、今後取り壊されます。

中越大震災のあった平成16年の春に入学し、今年卒業する児童は186人です。みな、喜びと希望を胸に卒業の日を迎えているようでした。新保哲衛校長は「現校舎最後の卒業式です。日本初の公立学校で学べた感謝の気持ちを大切に」とお話しされていました。記録の残る、昭和22年からの卒業児童はこの日の卒業生で14,787人です。この講堂からこんなにも多くの子どもたちが巣立っていったのですね。



大きなかがり火に春を待つ

3月13日(土)、岩沢地区で大イベント「春こい火まつり」が開催されました。当日はあいにくの雨模様でしたが、市内外から約400人が訪れ、会場内は熱気に包まれました。

約2,000個の空き缶にろうそくを灯したカンカンキャンドルや花火、大かがり火など、火を使った一夜だけの幻想的な世界に、来場者は酔いしれているようでした。

あの時を思い出して

3月27日(土)、総合体育館で中越大震災時に東山十二平の住民だったみなさんが当時の避難所生活の一部を再現しました。これは同集落のみなさんが手がける震災記録誌づくりの一環として行われたもので、新潟大学の福留邦洋准教授の指導のもと、当時避難生活を送った9世帯のうち4世帯が参加しました。

福留准教授は、「写真や絵で避難所での生活がたいへんだったというのはある程度分かるが、実際何がどのようにたいへんかは、現場で再現しないと分からない。具体的にどの位の範囲に、どれだけの人たちがいて、どのように過ごしていたのかを探ることは、今後の災害時にも大いに参考になります。これは神戸でも行われなかったことで、貴重なことです」と説明していました。

この震災記録誌は今年秋ごろに発行される予定だそうです。



春はもうすぐそこ

3月27日(土)・28日(日)の2日間、雪国自然学校が主催する自然観察会が山本山市民の家で行われました。市内外から15人が参加し、27日(土)は市民の家周辺のスノーシュートレッキングをしました。参加者はスノーシューやかんじきをはいて雪原を歩きながら、途中、「たらの木」や「グミの木」、「こしあぶら」や「やまぶし」などの木の説明に熱心に聞き入っていました。特にグミの木を好んでかじる野ウサギの話や、爪楊枝や薬用酒の原材料になる「くろもじ」という木の香りにとっても感動しているようでした。

早春のあたたかな日差しとひばりの鳴き声、そして芽吹く木々の中で、参加者はすがすがしい春の息吹を感じているようでした。



**この発酵文化を、多くのみなさんに伝えたい**  
市内のごぶろく製造に関わるみなさんが、「小千谷ごぶろく研究会」を立ち上げ、その設立総会が3月26日(金)、金倉会館(小栗山)で行われました。平成17年に「農都共生特区」の変更が認められ、これにより市内ではごぶろく製造の規制が緩和されました。その後市内では現在までに「徳五郎」「毘沙門天」「とえん」「まるいち」の4本のごぶろくが誕生しています。  
初代会長には市内第1号のごぶろく「徳五郎」を製造する篠田徳五郎さん(小栗山)が就任しました。篠田さんは1月末と2月中旬に開催された全国規模のごぶろくの大会でそれぞれ入賞、優秀賞を受賞しています。篠田さんは「みなさんのおかげでここまでできました。これからも、おいしいごぶろく造りのため、自分だけでなく4者一丸となって研鑽を積んでいきたいです」と総会であいさつされました。



カラーで伝えるワタシの魅力

「独身女性のためのカラーセミナー」が3月11日(木)、楽集館で行われ、市外からの11人を含む23人が参加しました。セミナーでは、まず参加者同士で1分間お互いの印象を伝え合い、続いて30秒自由な会話をして、相手の印象の変化を感じることで第一印象が決まる時間の短さを体験しました。この短い時間に相手に与える第一印象をよくするための「色」について、講師の池田早苗さんは、好きな色と理由を参加者から聞き、イメージを共有した後、それぞれの色の持つ力やさまざまな活用法を参加者に解説してくれました。

**鮮やかな絵紙に囲まれて**  
色とりどりの絵紙(浮世絵)と雛人形、押絵を展示する「絵紙で彩る小千谷のひいなまつり」が3月7日(日)〜14日(日)まで行われました。メイン会場の和順会館(照専寺・平成2)には、およそ750枚の色鮮やかな絵紙とたくさんの方の雛人形、押絵が展示されました。初日の7日(日)は、「絵紙に囲まれながら警女(こせ)を聴く」と題し、金子まゆさんをお招きし、会場で警女唄を聴くイベントも催されたほか、14日(日)はロバート・キャンベルさん(東京大学教授)たちを迎え、「小千谷の絵紙についてのシンポジウム」も行われました。



**広告募集中**

▶みなさんのお店やイベントの広告を掲載してみませんか? 広告掲載料はこの大きさに1回15,000円です。この「市報おちや」は市内全世帯に配布されます。  
■問い合わせ/企画財政課広報広聴係 ☎83-3507

**手作りジェラート店 オープンしました。**

10周年記念!  
4/10~19の期間にアイスをお買い上げの方に割引券プレゼント

営業期間 4月3日~9月26日  
営業時間 10:30~18:30  
定休日 火曜日(但し5月4日は営業)

EST! EST!  
EST! EST!  
TEL: FAX 0258-82-3358  
小千谷市千谷川1-4-1

有料広告掲載欄です

悪質商法や不当請求、多重債務など消費生活に関する様々なトラブルに関する相談窓口を開設しています。一人で悩まず、まずは気軽に相談ください。なお、窓口相談のほかにも、地域での消費トラブルに関する講演や研修会の講師派遣も行いますので問い合わせください。

■実施日／毎週火・木曜日（祝祭日・年末年始を除く）

**消費生活相談窓口**

**●社会福祉協議会でも無料の法律相談を行っています**

■相談日・時間／毎月第2・4水曜日午後1時30分～4時30分  
 ■会場／サンラックおぢや  
 ■申込・問い合わせ／社会福祉協議会（サンラックおぢや内）  
 ☎83・2340

**行政相談**

国や県の仕事、国が県や市町村に委任している仕事、独立行

政法人の仕事などの行政機関全般に対する苦情、意見、要望などの相談を行政相談委員が受け付けます。秘密は固く守られます。

**青少年相談**

いじめ、部活動、友だち関係などに関する本人からの相談を受けています。また保護者からの非行、不登校、ひきこもり、子育てなどに関する心配ごとの

**お年寄りの心の健康相談会**

物忘れが気になる、やる気が出ない、不眠でお困りの方やその家族の相談を、精神科医がお受けします。会場まで来ることが難しい場合は、訪問相談も行っています。相談は事前の申込が必要です。



いずれの相談も無料です。詳しい日程や内容は、今後発行される「市報おぢや」をご覧ください。どうか、担当課へお問い合わせください。

**無料法律相談**

弁護士が法律上の問題解決について相談を受けます。相談は予約制ですので、事前の申込を願います。

■内容／来所相談・電話相談 ※来所相談の場合はできる限り事前に電話で予約ください。  
 ■受付時間／午前9時～正午（正午～午後1時のお昼休み時間）に相談を希望する方はお申し出ください  
 ■会場／市役所2階第1相談室  
 ■申込・問い合わせ／市民生活課生活安全係 ☎83・3509

**特設人権・行政相談所**

人権問題ではないだろうかと感じるこ、困りごとや心配ごとがありましたら人権擁護委員にご相談ください。秘密は堅く守られます。

■実施日／毎月1回第3水曜日  
 ■相談時間／午後1時～4時  
 ■会場／市役所2階第1相談室  
 ■申込・問い合わせ／市民生活課生活安全係 ☎83・3509

**心の健康相談**

心が沈みがち、元気が出ない、眠れない、アルコール依存、家庭内暴力などでお困りの方の相談を精神科医師がお受けします。

■実施日／奇数月1回午後1時30分～3時  
 ■会場／健康センター  
 ■申込・問い合わせ／健康センター1保健係 ☎83・3640

**AAグループミーティング**

アルコール依存を正しく理解し、互いに話し合うことで断酒継続をしています。  
 ■実施日／毎週水・金曜日午後7時30分～9時  
 ■会場／健康センター  
 ■対象者／アルコール依存やお酒で体調をこわしている方、家族、友人

**子育てなんでも相談**

子育てで不安なこと、悩んでいること、心配ごとや気になることなどなんでもご相談ください。毎回、相談のテーマが異なります。事前の予約が必要です。  
 ■実施日／毎月1回午前10時～11時30分  
 ■相談員／子育て支援センター相談員、助産師、歯科衛生士、市栄養士など  
 ■会場／わんパーク  
 ■申込・問い合わせ／わんパーク ☎81・7564

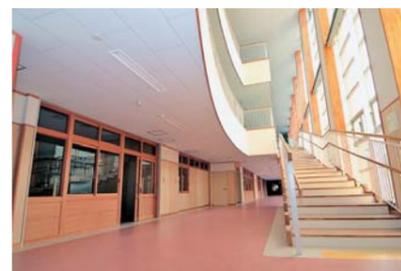
小千谷小学校の新校舎が完成



▲正門から見た校舎 (左) 東屋内運動場、(正面) 児童玄関、(右) 職員室など管理特別教室棟 円筒形のはシンボルタワーです



▲広い児童玄関



▲開放感あるコリドール（回廊）と階段



▲旧校舎にあった「振徳館」も移設されています



▲大きな東屋内運動場



▲高学年児童の教室



▲「デン」と呼ばれる小さな小部屋を持つ各教室は、仕切りがなく、多目的スペースで結ばれています



▲明るい光が差し込む中庭



▲災害時に使えるトイレも設置

**施設概要**

- 鉄筋コンクリート造3階建
- 敷地面積／45,770.7㎡
- 延床面積／
- ▷校舎部分：10,501.03㎡
- ▷屋内運動場部分：2,150.47㎡
- ▷給食施設部分：649.66㎡

この新校舎の一般見学会のご案内を19ページに掲載しています

市役所人事異動(平成22年3月31日・4月1日付)

※( )内は前職です。

- 一般事務職
【課長級】▼税務課長・久保田幾規(社会福祉課長)
【課長級】▼社会福祉課長・仲巳津夫(監査委員事務局長)
【課長級】▼生涯学習スポー...

平成22年度 成人式のご案内



成人になったみなさんをお祝いし、成人式を開催します。多数のご出席をお待ちしています。
■日時/5月3日(祝)午後1時開式(午後3時終了予定)
■会場/市民会館
■受付/午前11時30分~
■内容/記念式典・アトラクション・記念撮影
■成人式該当者/平成元年4月2日~2年4月1日に生まれた方
■その他/
※転入、転出された方も参加できます。
※該当者が市外に転出されている場合は本人に連絡してください。
※該当者個人に案内状は発送しません。
※記念品として後日記念写真を郵送しますので、希望される方は裏面の記念写真送付票にご記入のうえ、当日会場にお持ちください。
※市では地元就職の支援のため新潟就職情報サイト「にいがた就職応援団」と協力し、就職支援のためのセミナー開催や情報の提供を行っています。送付希望の有無をお聞かせください。メールでの配信もしていますのでご希望の方はパソコンのメールアドレスも記入ください。(記入いただいた個人情報は記念写真の送付・地元就職支援以外の目的には一切使用しません。)
■問い合わせ/▷成人式について:公民館(市民会館内)☎82-9111
▷就職支援情報について:商工観光課商工振興係☎83-3512

わんパーク 一時預り時間を拡大

子育て支援センター「わんパーク」での乳幼児一時預りの時間を拡大します。ご利用には利用日前日までの予約が必要です。
■対象児童/生後4か月~小学校就学前までの子ども
■利用時間/月曜日~金曜日(平日のみ)午前9時30分~午後5時
■一日の預かり時間/4時間まで
■利用料金/1人あたり1時間につき300円
■問い合わせ/わんパーク ☎81-7564

うぶごえ教室

出産や育児のための教室です。お子さん、ご夫婦一緒に参加できます。参加は無料です。
■日時/5月18日(火)午前9時~9時10分受付
■対象/妊婦、1歳未満の子どもの母親など
■会場/健康センター
■内容/市で行う出産・育児サービスの紹介、妊娠中・産後の過ごし方などの講話、料理実習、会食交流会
■持ち物/母子健康手帳、エプロン、三角布、お子さんの離乳食、おんぶひも
■申込締切/5月13日(木)
■申込・問い合わせ/健康センター 保健係 ☎83-3640

記事が移りました

昨年度まで、毎月10日に発行する「市報おぢや」でお知らせしていましたが「各種検診日程」は、今年度から25日に発行する「市報おぢやお知らせ版」に掲載します。
■問い合わせ/企画財政課広報広聴係☎83-3507

5月 乳幼児の健康診査日程

会場は健康センターです。発熱など、普段と違う症状のあるお子さんは、翌月の健診日においでください。
■問い合わせ/健康センター保健係 ☎83-3640
▶乳幼児健診の実施日には、先着順に番号札をお渡しします。
▶番号札配布開始時間/午前中に開催の場合:午前8時30分~、午後開催の場合:正午~

Table with 6 columns: 健診名, 対象, 期日, 受付時間, 持ち物, その他. It lists health check schedules for children from 4 months to 3 years old.

特定健診受診券を送付します

5月中旬ごろ、小千谷市国民健康保険にご加入の40歳から74歳の方(平成22年4月1日現在の年齢を基準)へ特定健診受診券を送付します。これは市の特定健診を受診する際に必ず必要になるものです。受診券には有効期限や自己負担金などが記載されていますので、確認のうえ、健診当日まで大切に保管してください。特定健診を受診する際は「受診券」と「保険証」の両方を必ずお持ちください。
■問い合わせ/健康センター保健係☎83-3640

お休みします「なかよし広場さくら」

市立さくら保育園(元中子)で開設していましたが「なかよし広場さくら」は、お休みします。育児相談などについては、子育て支援センターわんパークをはじめ、各保育園において随時受け付けています。
なお、ひばり認定こども園に併設する子育て支援センター機能「ひばりパーク」については、詳細が決まり次第、お知らせします。
■問い合わせ/社会福祉課子育て支援係 ☎83-3517

お知らせ Information

■まちのうごき (3月31日現在)

人口と世帯数 ※ ( ) 内は前月比	気象データ3月			消防本部出動状況		交通事故発生状況						
	22年3月	過去10年の平均		22年3月まで	21年3月まで	22年3月まで	21年3月まで					
男	19,424人(-61)	出生	25人	平均気温	3.0℃	3.6℃	火災	6件	6件	件数	33件	37件
女	19,983人(-48)	死亡	44人	最高気温	17.5℃	17.7℃	救急	321件	330件	死者	1人	2人
合計	39,407人(-109)	転入	142人	最低気温	-2.8℃	-3.5℃				傷者	37人	42人
世帯数	12,586世帯(-2)	転出	232人	降水量月計	171.0mm	152.1mm	◀気象データは、小千谷地域消防本部速報値(観測地:元中子)					

小千谷小学校新校舎を一般公開します



平成20年度から工事に着手した小千谷小学校改築事業のうち、新校舎・屋内運動場などが2月26日に竣工し、4月9日(金)には入学式を行いました。

この新校舎を学習参観に併せて一般公開します。この機会に新しい学校をぜひご覧ください。

■日時/4月24日(土)午前9時~11時30分、午後1時~2時

■入口/正面(児童)玄関からお入りください。

■申込不要/どなたでも見学できます。

■注意事項/▷駐車場が不足しています。自動車での来校はご遠慮ください。

▷玄関に見学者用の受付名簿を置きます。記帳をお願いします。

▷内履きと袋などの外履き入れを持参ください。

▷授業参観に併せた一般公開です。校内では、職員や係の指示に従い見学してください。

■問い合わせ/学校教育課庶務係 ☎83-3519

美しい小千谷を描きましょう

小千谷写生大会

小千谷の春を描く写生大会を行います。春の陽気の中、ゆったりとした一日を絵を描いてすごしませんか。会場では絵画の指導者が適切な指導、助言を行います。当日描いた作品は、楽集館で展示します。みなさんが描いた作品が展示されますのでお楽しみに。

■申込・問い合わせ/▷生涯学習スポーツ課 ☎83-0077▷市民会館 ☎82-9111▷楽集館 ☎82-8282

写生大会

■期日/4月25日(日)

■会場/楽集館

■部門/

- ▷一般部門:中学生以上の方はどなたでも参加できます。
- ▷ジュニア部門:中学生以下の方。中学生はどちらの部門にも参加できます。就学前の児童は保護者同伴でお願いします。

■時間/

- ▷一般部門:午前9時~午後4時(午後3時から批評・鑑賞会を行います)
- ▷ジュニア部門:午前9時~描き終えた方から作品を提出していただき解散となります。

■持ち物/普段お使いの道具(水彩、油彩など何でも可)、画板、敷物など。画用紙のみ主催者が用意します。

■参加費/▷一般部門500円▷ジュニア部門200円

■表彰/一般部門、ジュニア部門でそれぞれで行います。一般部門入賞者には賞金、ジュニア部門には参加賞があります。

■申込/参加希望者は4月21日(水)までに申し込みください。

- ▶雨天の場合は屋内で開催します。静物も用意します。
- ▶昼食は各自用意してください。
- ▶画用紙の作品は当日出品をしていただきます。画用紙以外の作品は4月28日(水)までに額縁に入れて出品してください。
- ▶申込をした方には持ち物など詳しい資料を送ります。

企画展示

写生大会の作品を展示・表彰します。

■期日/5月1日(土)~9日(日)

■時間/午前10時~午後6時

※5月6日(水)は休館日です。

■会場/楽集館企画展示室

■入場無料

**梅原司平トーク&コンサート IN 小千谷**

小・中学校、病院などを訪問し音楽活動が続ける梅原司平さんのコンサートが開催されます。

■日時/4月24日(土)午後1時30分開場、2時開演

■会場/市民会館大ホール

■出演/▽ポーカー・ギター…梅原司平▽ピアノ…進藤克己

■入場料/大人2000円、高校生以下500円

■駐車場/小千谷小学校改築工事のため、改築工事現場北側の仮設駐車場を利用ください。駐車台数に限りがありますので、公共交通機関の利用や相乗りでの来場にご協力ください。

■主催/梅原司平コンサート実行委員会

■共催/教育委員会

■申込・問い合わせ/鵜沼水産・米山・山岸 ☎82-4151

小千谷市定住促進事業  
小千谷で働き 小千谷で暮らす  
U・J・Iターンを応援します

市では、地元への定住促進を図るために、40歳以下のU・J・Iターン就職者やU・J・Iターン新規就農者が住民登録をして、民間の賃貸住宅を借りた場合に、月額家賃の3分の1(15,000円を限度)を最大3年間補助します。

■補助対象者/年齢が40歳以下であり、U・J・Iターンにより、市内に所在する事業所に勤務(新規就職者を含む)または新規就農し、住民登録をした日から6か月以内に申請される方。

※ただし、公務員や人事異動に伴い市外への転勤が想定される事業所にお勤めの方は除きます。※市内に本店があり、市内に住民登録しながら、市外の支店や営業所に勤務する方は対象となります。

詳しくは、問い合わせください。■対象住宅/市内における民間の借家、アパートなど

※勤務する事業所の社宅や社員寮または雇用促進住宅などの公共的な住宅は除きます。

■補助金の額/支払った家賃の月額(共益費を除く)と、当該借家などに付属する駐車場の使用料との合計金額の3分の1以内の額(15,000円を限度、千円未満切捨て)

■交付期間/交付決定の月から3年間(36月)を限度

■問い合わせは/建設課建築住宅係 ☎83-3514

きりとり

### 成人式記念写真送付票

市控用

住所	〒 ー
世帯主	
氏名	
電話または携帯番号	
就職支援情報の送付	希望する ・ 希望しない (どちらかを○で囲んでください)
メールアドレス(パソコンのみ)	

送付用

住所	〒 ー
氏名	様

きりとり

**納税・納入通知書を発送します**

■問い合わせ/税務課 ☎83-3508

●国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料納入通知書

特別徴収(年金天引)に該当する方には、4月9日(金)に4、6、8月分の納入通知書を発送しました。

国民健康保険税、介護保険料の普通徴収(自主納付または口座振替)に該当する方には4月15日(木)に4、6月分の納入通知書を発送します。詳しくは、同封の文書でお知らせしています。

後期高齢者医療保険料の普通徴収(自主納付または口座振替)に該当する方には7月に発送します。

●固定資産税納税通知書

固定資産税納税通知書を4月15日(木)に発送します。同封する課税明細書で資産の確認をお願いします。



**越後立て鯉展示観賞即売会**

雪国・越後の厳しい冬を見事に越冬した、これからの成長が楽しみな立て鯉(体長10~60cm程度)の錦鯉を県内各地より一堂に集め展示・販売します。

当歳魚袋詰販売、錦鯉グッズ、地場産品の販売も行います。

■日時/4月25日(日)午前8時30分~午後3時

■会場/錦鯉の里イベント広場

■入場無料

■主催/小千谷市錦鯉漁業協同組合

■問い合わせ/小千谷市錦鯉漁業協同組合事務局 ☎41-1405

**西脇正久さんの風景画展**

■開催期間/4月24日(土)まで(日曜日はお休みです)

■時間/午前10時~午後3時

■会場/芽咲庵(上ノ山1さつき工房となり)

■入場無料

■問い合わせ/さつき工房 ☎82-0403



## 小千谷を描く No. 389 雪解けの川（真人町上沢）

3月中はあまり晴天に恵まれませんでした。お彼岸のころからやっと陽気に春を感じられるようになってきました。ここ、真人の上沢でも雪解けの川が水勢を増していました。ふうきんとうはまだだろうか、桜の花は、何日ごろ咲くだろうか、小千谷のこっからの季節は、ほんにいいよね。みんなして桜餅でお茶呑みでもしましょうてね。

●入学式も終わり、桜の花の季節となりました。この春から新しい生活をスタートした方も多いのではないでしょうか。新年度を迎え、当編集部も、4年間在籍した皆さんが新しい職場に異動し、皆さんが新メンバーとして加わりました。お気づきでしょうか、紙面も少し変更しました。また1年間、新たな編集体制で、「市報おちや」をお届けします。応援をお願いします。●人事異動により我が係もベテラン図君が出て皆さんが来た。編集部初の女性の登場だ。係内で絶えず意欲的で中心的存在だった図君、お疲れさま。編集部でお世話になりました。

●今回から、「市報おちや」の編集に携わらせていただくことになった新ことになりました。無事にここまで務めることができました。この間、通算48号分の「市報おちや」の作成と、市のホームページ管理をさせていただきました。また、週末のたびにカメラを抱えて出かけたりともよい経験でした。今号から少し文字が大きくなった新しい「市報おちや」を置き土産に、この春、この編集部を去ることになりました。無事にここまで務めることができました。ありがとうございました。今後とも「市報おちや」、「市ホームページ」をどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 編集後記

ちぢみの里の利用券が当たる 解答をはがきでお送りください。正解者の中から、抽選で3人にちぢみの里の利用券を贈呈します。市報おちやの感想もあると担当はうれしいのですが...

### 広報クイズ

問題 妊産婦さんや小さな子どもづれの方にやさしい社会をつくるために定められた右のマーク。

さて何というマークでしょうか。

- ① マタキテネマーク
  - ② マタニティマーク
  - ③ アカチャンマーク
- (ヒントは5ページ)



■応募先：〒947-8501 小千谷市役所 企画財政課 広報広聴係 へ (住所不要)

■締切：4月23日(金) (当日消印有効)  
3月号の答えは、「@3,562都市」でした。抽選の結果次の方が当選しました。

佐々木輝久さん 田中奏汰さん  
細金邦雄さん

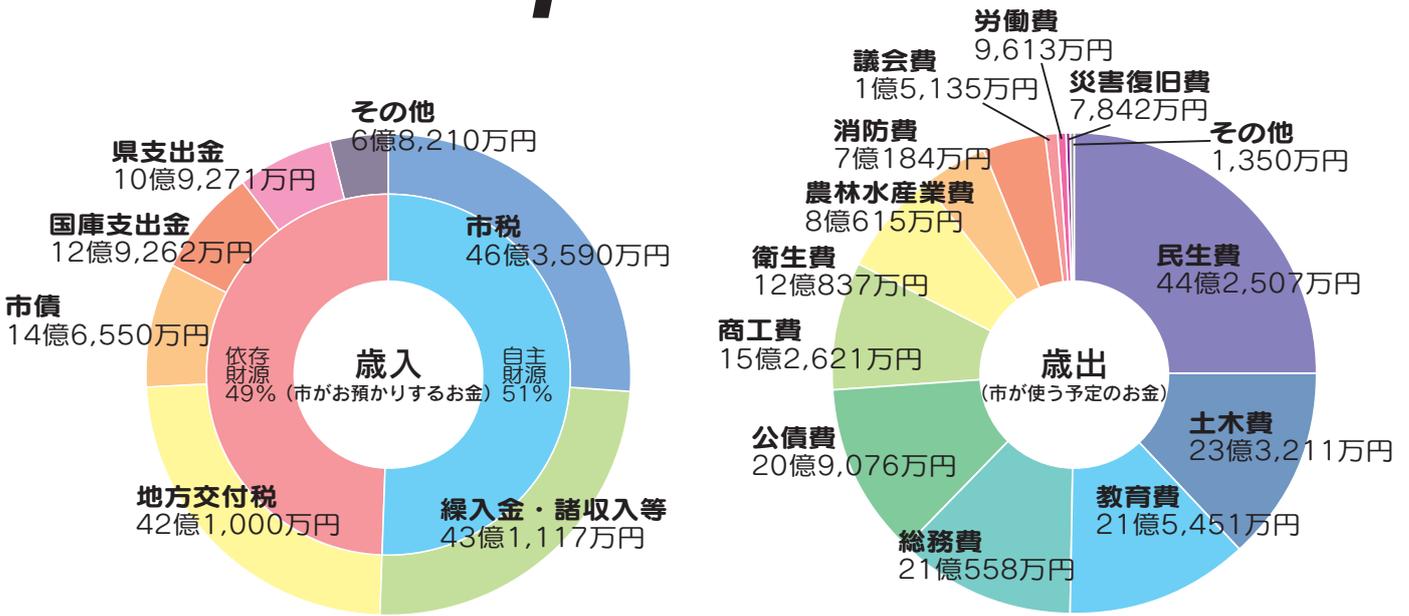
# 小千谷市の予算

第四次小千谷市総合計画の都市像「創造、伝統、自然が織りなす誇りあるまち おぢや」の実現に向け取り組みます。

## ●一般会計歳入・歳出の構成比 (対前年度比 3.8% 増)

# 総額 176億9,000万円

▶このほかに特別会計と企業会計があります。(裏表紙に記載)



## ●一般会計予算を小千谷市民一人あたりで見ると 市の人口：39,407人 (平成22年3月末日現在)

# 448,905円

- 市議会に 3,841円
- 高齢者・児童の福祉などに 112,291円
- 健康増進・病気予防などに 30,664円
- その他 4,772円
- 市の事務管理などに 53,432円
- 中小企業者の支援などに 38,729円
- 道路・河川の整備や住宅などに 59,180円
- 借入金返済に 53,056円
- 消防活動や防災に 17,810円
- 農林水産業の振興などに 20,457円
- 学校、公民館や図書館に 54,673円

# 平成22年度小千谷市の 予算と主要事業



## 1. 人を育み文化の香るまち (教育・文化・スポーツ)

- 1 幼稚園振興事業補助……………4171万円
- 2 学力向上小千谷プロジェクト……………40万円
- 3 すいせんプラン推進事業委託……………428万円
- 4 特別支援教育事業……………1376万円
- 5 小千谷小学校改築事業……………4億7440万円
- 6 スクール・アシスタント配置……………959万円
- 7 「ふるさと」に輝くおぢやの先人たち(冊子制作(新規))……………35万円
- 8 生涯学習フェスティバル(新規)……………150万円
- 9 小千谷縮布越後上布世界無形文化遺産登録記念事業補助(新規)……………100万円
- 10 図書館開館時間延長、祝日開館及び住民票等の交付サービスの推進(新規)……………200万円
- 11 市民会館施設改修事業(新規)……………4670万円
- 12 アスリート育成事業……………210万円
- 13 総合型地域スポーツクラブ補助(新規)100万円
- 14 信濃川右岸河川公園整備事業(新規)6737万円(野球場・多目的広場等の整備)
- 15 小学校区再編の推進……………

## 2. 安全で快適な美しい環境のまち (環境・防災・交通安全)

- 1 消費者行政活性化補助……………117万円
- 2 資源物集団回収奨励事業……………777万円
- 3 指定ごみ袋作製、管理等委託(新規)……………1260万円
- 4 可燃ごみ処理事業……………2億1982万円
- 5 不燃ごみ処理事業……………2億0859万円
- 6 し尿処理事業……………9099万円
- 7 克雪住宅普及事業……………6171万円
- 8 除雪対策経費……………3億2121万円
- 9 融雪施設整備助成事業……………2500万円
- 10 消雪パイププロジェクト事業(新規)……………7000万円
- 11 一般木造住宅耐震化事業補助(新規)……………375万円
- 12 一般木造住宅部分補強地震保険等加入費補助(新規)……………215万円
- 13 救急救命士養成(新規)……………239万円
- 14 救助工作車更新(新規)……………7300万円
- 15 消防施設整備事業……………1220万円
- 16 小・中学校耐震補強設計業務委託……………1750万円

## 3. 健康で安心して暮らせるまち (福祉・健康・医療)

- 1 障がい者介護給付費等給付事業……………3億5825万円
- 2 障がい者地域生活支援事業……………2187万円
- 3 補装具費給付扶助……………666万円
- 4 自立支援医療費給付事業(更生医療)……………2481万円

## 4. 活気に満ちた産業のまち (産業・経済)

- 1 就職支援アドバイザー配置……………168万円
- 2 キャリア教育推進事業(新規)……………12万円
- 3 ふるさと雇用再生事業・緊急雇用創出事業……………2089万円
- 4 重点分野雇用創造事業(新規)……………5000万円
- 5 テクノ小千谷名匠塾補助……………279万円
- 6 地域営農活動緊急支援事業補助(復興基金事業(新規))……………1億8445万円
- 7 おぢや米ブランド力強化推進事業補助(新規)……………900万円
- 8 新潟米ブランド力強化推進事業補助(新規)……………338万円
- 9 新潟米コスト低減事業補助(新規)……………1533万円
- 10 中山間地域等直接支払事業補助……………4450万円
- 11 生産調整推進対策奨励補助……………1200万円
- 12 水田農業支援緊急対策事業(新規)……………3000万円
- 13 農業基盤整備事業……………4709万円
- 14 ものづくり共同開発支援事業補助(新規)……………500万円

## 5. 豊かな自然環境と共生するまち (都市基盤)

- 1 テレビ共聴施設整備事業補助(新規)……………1036万円
- 2 集落再生通信網整備事業補助……………2400万円
- 3 合併処理浄化槽設置補助……………1340万円
- 4 パス路線運行費等補助……………2202万円
- 5 片貝環状線整備事業(新規)……………3500万円
- 6 池中新田市ノ沢線整備事業……………1500万円
- 7 都市計画変更業務委託……………300万円
- 8 都市計画道路東栄元中子線整備事業……………6298万円
- 9 信濃川右岸河川公園整備事業(新規)……………2682万円(測量・設計委託、公園造成等)
- 10 住宅建築資金融資事業……………5350万円
- 11 公営住宅施設整備……………6500万円
- 12 国道117号千谷ハイパス道路改築事業推進(県施工)
- 13 一級河川表沢川改修事業推進(県施工)
- 14 一級河川茶郷川改修事業推進(県施工)
- 15 力アス管耐震化事業……………1億2370万円
- 16 水利権許可申請業務委託……………450万円

## 6. 人と人がふれあうまち (交流・市民参加)

- 5 小規模特別養護老人ホーム施設整備費補助・施設開設準備経費補助(新規)……………1億2702万円
- 6 スプリングラー整備費補助(新規)……………1471万円
- 7 在宅ねたきり老人介護手当支給……………3404万円
- 8 在宅生活支援事業……………4246万円
- 9 介護予防サービス計画事業……………1565万円
- 10 未滿児保育促進事業補助……………540万円
- 11 保育所運営費補助(新規)……………5641万円
- 12 児童扶養手当支給(拡充)……………9501万円
- 13 子ども手当支給(拡充)……………7億3951万円
- 14 子育て支援センター事業……………2897万円(ファミリーサポートセンター、病後児保育サポート、保育サポート派遣、センター管理経費)
- 15 休日救急診療支援事業補助……………408万円
- 16 健康福祉まつり負担金……………150万円
- 17 健康診査事業……………1079万円
- 18 がん検診事業……………4803万円
- 19 予防接種委託等……………5202万円
- 20 母子保健事業(拡充)……………4390万円(ベビーファースト運動事業、妊婦一般健康診査助成、県外妊婦一般健康診査助成、不妊治療費助成)
- 21 乳児医療費助成事業……………1110万円
- 22 子ども医療費助成事業……………5563万円
- 23 放課後児童健全育成事業補助(拡充)……………2346万円
- 24 国民健康保険給付費……………23億7563万円
- 25 後期高齢者支援金等……………4億4075万円
- 26 人間ドック助成事業……………3119万円
- 27 健康づくり推進事業……………313万円
- 28 特定健康診査・保健指導事業……………2484万円
- 29 介護サービス給付費……………31億0886万円
- 30 介護予防サービス給付費……………1億2578万円
- 31 高額介護サービス等費……………4909万円

- 15 ものづくり研究・開発支援事業補助(新規)……………200万円
- 16 商店街空き店舗開業支援事業補助(新規)……………220万円
- 17 商工業融資資金預託……………12億1450万円
- 18 工場設置奨励金……………1141万円
- 19 就業者定住促進住宅賃補助……………1800万円
- 1 農村都市共生推進事業(ソフト事業)……………5650万円
- 2 ふれあいの里管理費……………1885万円
- 3 山本山景観形成事業(新規)……………100万円
- 4 地域間交流センター施設修繕……………4570万円
- 5 町内集会施設等整備事業費補助(新規)……………1679万円
- 6 とぎめきめぐりあい推進事業……………695万円
- 7 まちづくり人材育成事業……………100万円

### 計画推進のために

- ① 総合計画後期基本計画策定(新規)……………206万円



# 重点施策

## 1. 子育て支援

働く女性が増えた今日、子育てと仕事の両立は社会的に大きな課題となっています。安心して子どもを産み育てることができる支援を進めます。

- 保育所運営費補助
- 未満児保育促進事業補助
- 幼稚園振興事業補助
- 児童扶養手当支給
- 子ども手当支給
- 子育て支援センター事業
  - ・ファミリーサポートセンター
  - ・病後児保育サポート
  - ・保育サポーター派遣
  - ・センター管理経費
- 母子保健事業
  - ・ベビーファースト運動事業
  - ・妊婦一般健康診査助成
  - ・県外妊婦一般健康診査助成
  - ・不妊治療費助成
- 乳児医療費助成事業
- 子ども医療費助成事業



## 2. 防災のまちづくり

震災の体験を活かし、市民の防災意識を高め、災害に強いまちづくりを進めます。

- 一般木造住宅耐震化事業補助
- 一般木造住宅部分補強・地震保険等加入費補助
- 救助工作車更新
- 消防施設整備事業
- 小・中学校耐震補強設計業務委託



## 3. 交流・定住促進

都会の人との交流を深め定住へのきっかけをつくるとともに、若者の定住促進のための支援を進めます。

- 農村都市共生推進事業（ソフト事業）
- ふれあいの里管理費
- 就業者定住促進住宅家賃補助



## 4. 産業の振興

特産品の販路拡大や、既存の産品に付加価値をつけた新たな産品創造に努めるなど、産業の振興のための支援を進めます。

- おぢや米ブランド力強化推進事業補助
- 新潟米ブランド力強化推進事業補助
- 水田農業支援緊急対策事業
- ふるさと雇用再生事業、緊急雇用創出事業
- 重点分野雇用創造事業
- テクノ小千谷名匠塾補助
- ものづくり共同開発支援事業補助
- ものづくり研究・開発支援事業補助



## 5. その他の主要事業

- 小千谷小学校改築事業
- 病院統合再編整備の推進
- 小学校区再編の推進
- 国道117号千谷バイパス道路改築事業推進（県施工）
- 一級河川表沢川・茶郷川改修事業推進（県施工）



▶ 一般会計のほかに

特別会計と企業会計があります

特別会計		78億3607万円
国民健康保険		36億1320万円
老人保健		46万円
介護保険		34億6530万円
後期高齢者医療		7億2051万円
工業団地事業		3660万円
企業会計		61億9197万円
ガス事業		17億6941万円
水道事業		11億7126万円
工業用水道事業		5億9927万円
下水道事業		26億5203万円

## ▶ 市の借金

	平成21年度末 残高	平成22年度 借入額	平成22年度 元金償還額	平成22年度末 残高
<b>一般会計</b>				
一般会計	159億8,200万円	14億6,500万円	17億9,200万円	156億5,500万円
<b>特別会計</b>				
工業団地事業	2億2,000万円	-----	3,300万円	1億8,700万円
<b>企業会計</b>				
ガス事業	11億3,900万円	-----	1億9,000万円	9億4,900万円
水道事業	27億2,900万円	8,200万円	1億8,400万円	26億2,700万円
工業用水道事業	10億1,800万円	-----	1億 500万円	9億1,300万円
下水道事業	172億 800万円	2億 900万円	9億4,500万円	164億7,200万円

■市の財政や予算に関するお問い合わせは／企画財政課 ☎83-3507 FAX83-2789

✉ plan@city.ojiya.niigata.jp